

土岐市立小中学校適正規模等検討委員会（第1回）資料

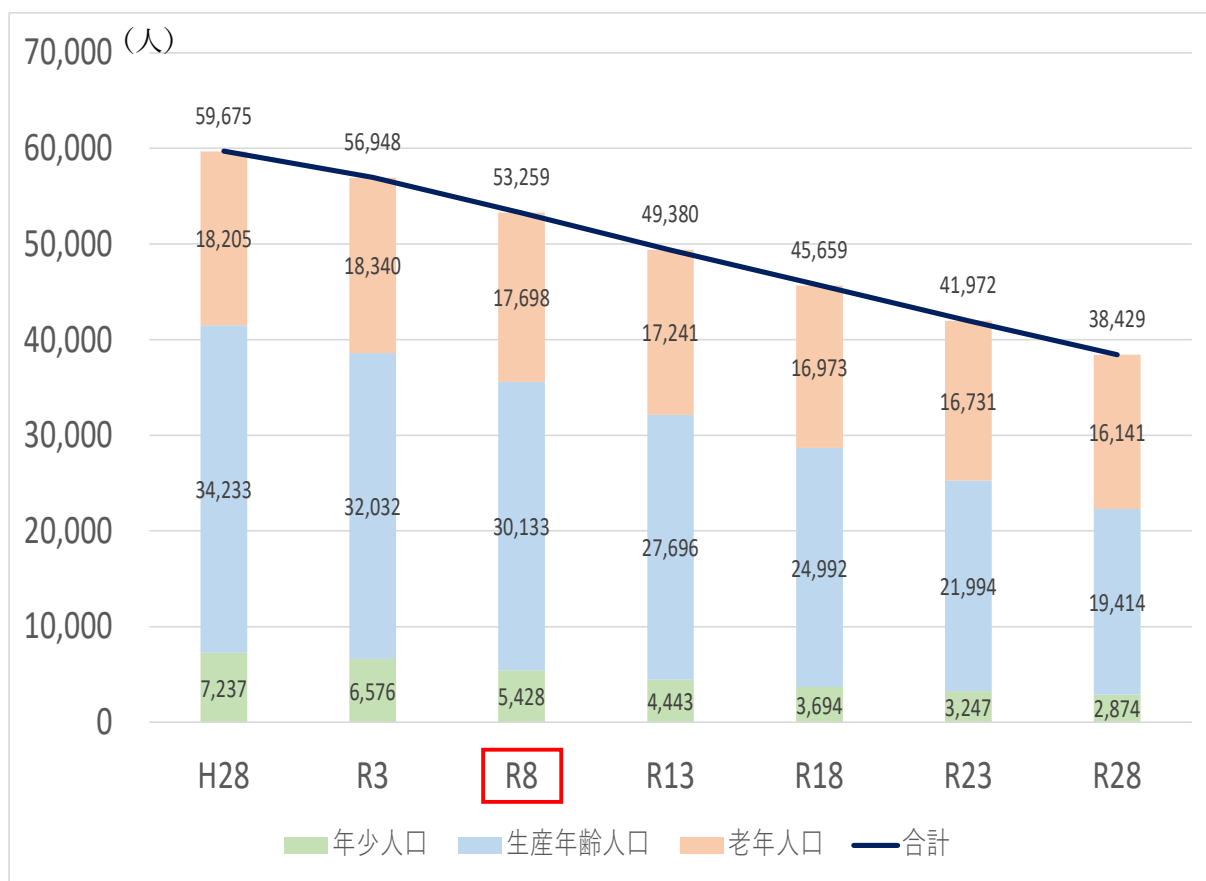
- (1) 土岐市立小中学校の児童生徒数・学級数の将来推計について . . . 1
- (2) 学校施設について 9
- (3) 公立小・中学校の適正規模・適正配置について 12
- (4) 土岐市立小中学校適正規模等検討委員会スケジュール（案） . . 15

(1) 土岐市立小中学校の児童数・学級数の将来推計

1 将来人口推移

本市の人口は、10年前の平成28年と比べ、年少人口（0～14歳）は25%減少、生産年齢人口（15～64歳）は12%減少、老年人口（65歳以上）は3%減少、全人口では11%減少しました。

20年後の令和28年には、年少人口は47%減少、生産年齢人口は36%減少、老年人口は15%減少、全人口では29%減少することが予想されます。



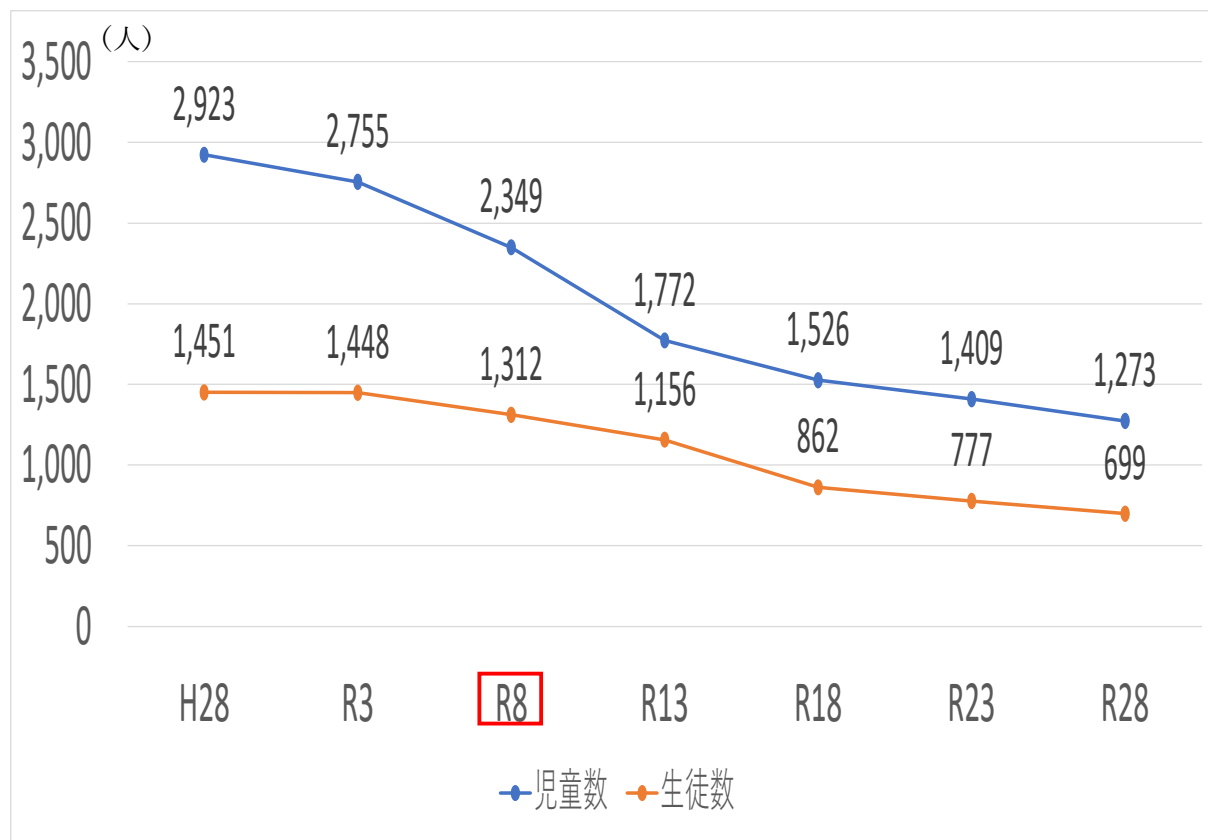
	H28	R3	R8	R13	R18	R23	R28
年少人口	7,237	6,576	5,428	4,443	3,694	3,247	2,874
生産年齢人口	34,233	32,032	30,133	27,696	24,992	21,994	19,414
老年人口	18,205	18,340	17,698	17,241	16,973	16,731	16,141
合計	59,675	56,948	53,259	49,380	45,659	41,972	38,429

出典：住民基本台帳、第七次土岐市総合計画

2 小中学校の児童・生徒数

10年前の平成28年と比べ、小学校の児童は20%減少、中学校の生徒数は10%減少しました。

20年後の令和28年には、小学校の児童数は46%減少、中学校の生徒数は47%減少することが予想されます。

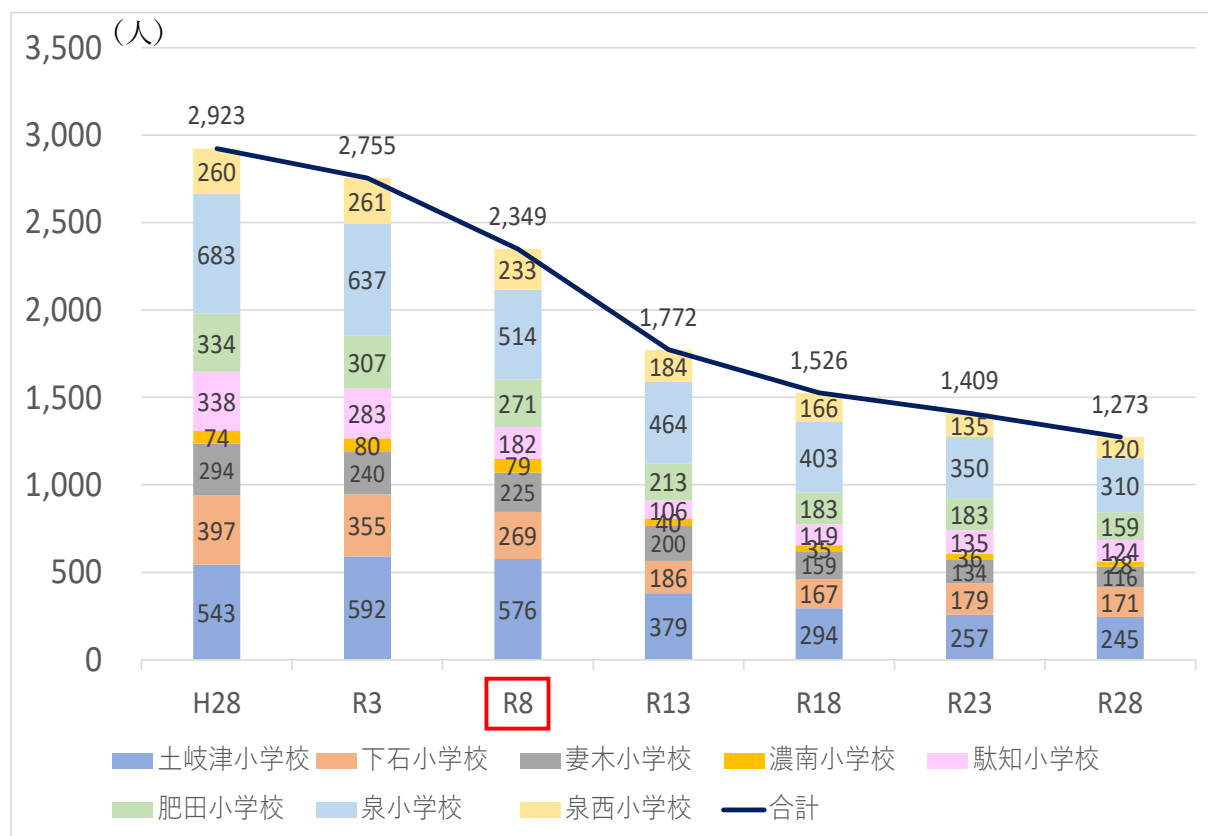


	H28	R3	R8	R13	R18	R23	R28
児童数	2,923	2,755	2,349	1,772	1,526	1,409	1,273
生徒数	1,451	1,448	1,312	1,156	862	777	699

出典：学校基本調査、住民基本台帳、日本の地域別将来推計人口 (R6)

3 小学校の児童数

児童数は、20年後の令和28年には、土岐津小学校では57%減少、下石小学校では36%減少、妻木小学校では48%減少、濃南小学校では65%減少、駄知小学校では32%減少、肥田小学校では41%減少、泉小学校では40%減少、泉西小学校では、48%減少することが予想されます。

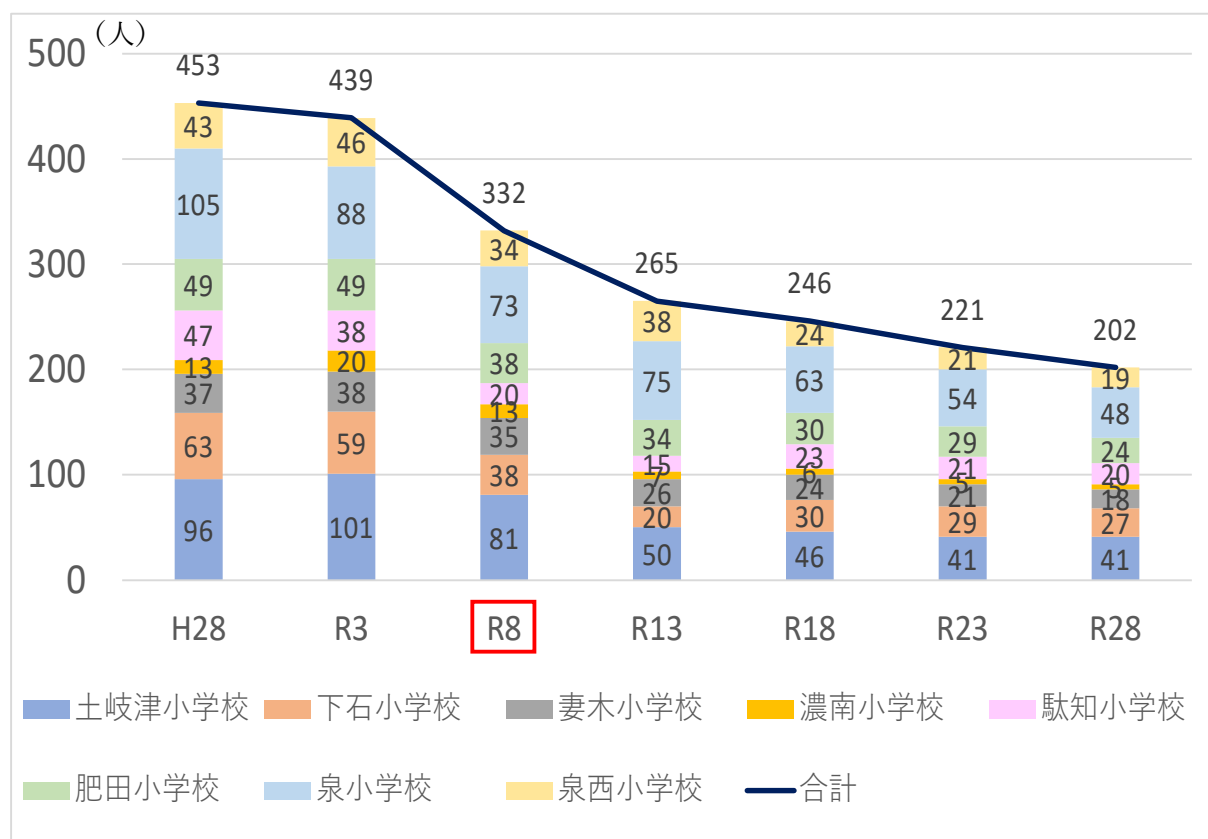


	H28	R3	R8	R13	R18	R23	R28
土岐津小学校	543	592	576	379	294	257	245
下石小学校	397	355	269	186	167	179	171
妻木小学校	294	240	225	200	159	134	116
濃南小学校	74	80	79	40	35	36	28
駄知小学校	338	283	182	106	119	135	124
肥田小学校	334	307	271	213	183	183	159
泉小学校	683	637	514	464	403	350	310
泉西小学校	260	261	233	184	166	135	120
合計	2,923	2,755	2,349	1,772	1,526	1,409	1,273

出典：学校基本調査、住民基本台帳、日本の地域別将来推計人口（R6）

4 小学校の新入生の数

新入生は、20年後の令和28年には、土岐津小学校では49%減少、下石小学校では29%減少、妻木小学校では49%減少、濃南小学校では62%減少、肥田小学校では37%減少、泉小学校では34%減少、泉西小学校では、44%減少、全小学校では39%減少することが予想されます。



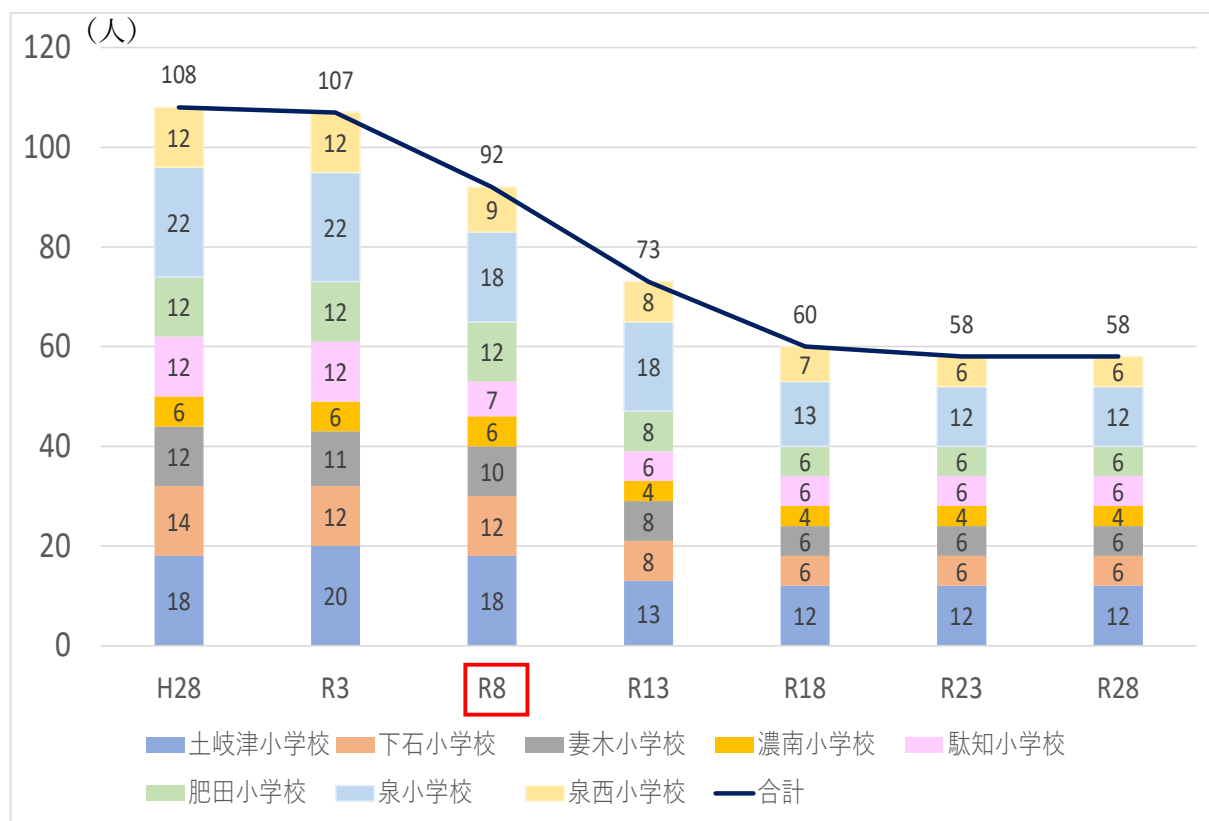
	H28	R3	R8	R13	R18	R23	R28
土岐津小学校	96	101	81	50	46	41	41
下石小学校	63	59	38	20	30	29	27
妻木小学校	37	38	35	26	24	21	18
濃南小学校	13	20	13	7	6	5	5
駄知小学校	47	38	20	15	23	21	20
肥田小学校	49	49	38	34	30	29	24
泉小学校	105	88	73	75	63	54	48
泉西小学校	43	46	34	38	24	21	19
合計	453	439	332	265	246	221	202

出典：学校基本調査、住民基本台帳、日本の地域別将来推計人口（R6）

5 小学校の学級数

学級数は、20年後の令和28年には、土岐津小学校では33%減少、下石小学校では50%減少、妻木小学校では40%減少、濃南小学校では33%減少、駄知小学校では14%減少、肥田小学校では50%減少、泉小学校では33%減少、泉西小学校では、33%減少、全小学校では37%減少することが予想されます。

20年後の令和28年には、下石小学校、妻木小学校、駄知小学校、肥田小学校では全学年で単学級、濃南小学校では複式学級になっていることが予想されます。



	H28	R3	R8	R13	R18	R23	R28
土岐津小学校	18	20	18	13	12	12	12
下石小学校	14	12	12	8	6	6	6
妻木小学校	12	11	10	8	6	6	6
濃南小学校	6	6	6	4	4	4	4
駄知小学校	12	12	7	6	6	6	6
肥田小学校	12	12	12	8	6	6	6
泉小学校	22	22	18	18	13	12	12
泉西小学校	12	12	9	8	7	6	6
合計	108	107	92	73	60	58	58

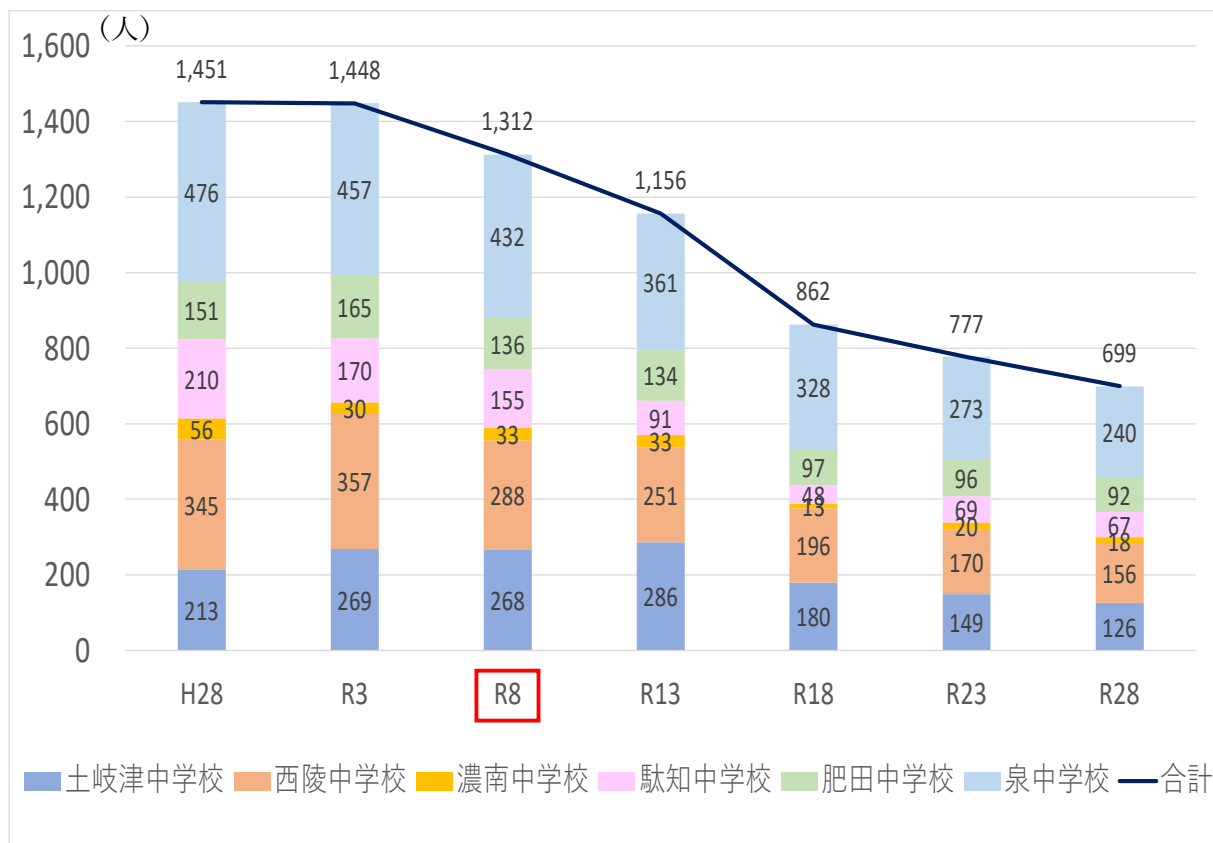
※黄色の枠内の数字は、1学年1学級の単学級になっていることを表しています。

※オレンジ色の枠内の数字は、2つの学年を1つの学級として編制した複式学級になっていることを表しています。

※1学級当たり35人として算出しています。

6 中学校の生徒数

生徒数は、20年後の令和28年には、土岐津中学校では53%減少、西陵中学校では46%減少、濃南中学校では45%減少、駄知中学校では57%減少、肥田中学校では32%減少、泉中学校では44%減少することが予想されます。

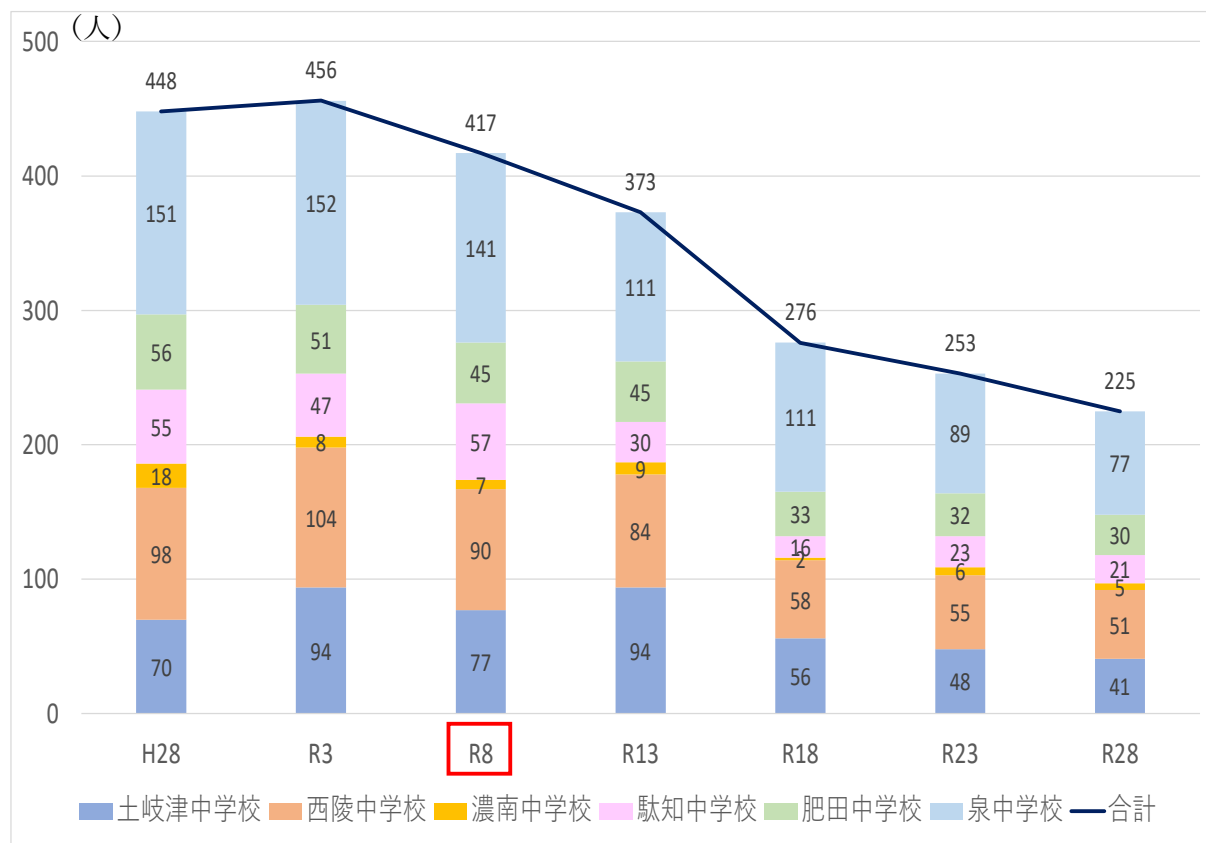


	H28	R3	R8	R13	R18	R23	R28
土岐津中学校	213	269	268	286	180	149	126
西陵中学校	345	357	288	251	196	170	156
濃南中学校	56	30	33	33	13	20	18
駄知中学校	210	170	155	91	48	69	67
肥田中学校	151	165	136	134	97	96	92
泉中学校	476	457	432	361	328	273	240
合計	1,451	1,448	1,312	1,156	862	777	699

出典：学校基本調査、住民基本台帳、日本の地域別将来推計人口 (R6)

7 中学校の新入生の数

新入生は、20年後の令和28年には、土岐津中学校では47%減少、西陵中学校では43%減少、濃南中学校では29%減少、駄知中学校では63%、肥田中学校では33%減少、泉中学校では45%減少、全中学校では46%減少することが予想されます。



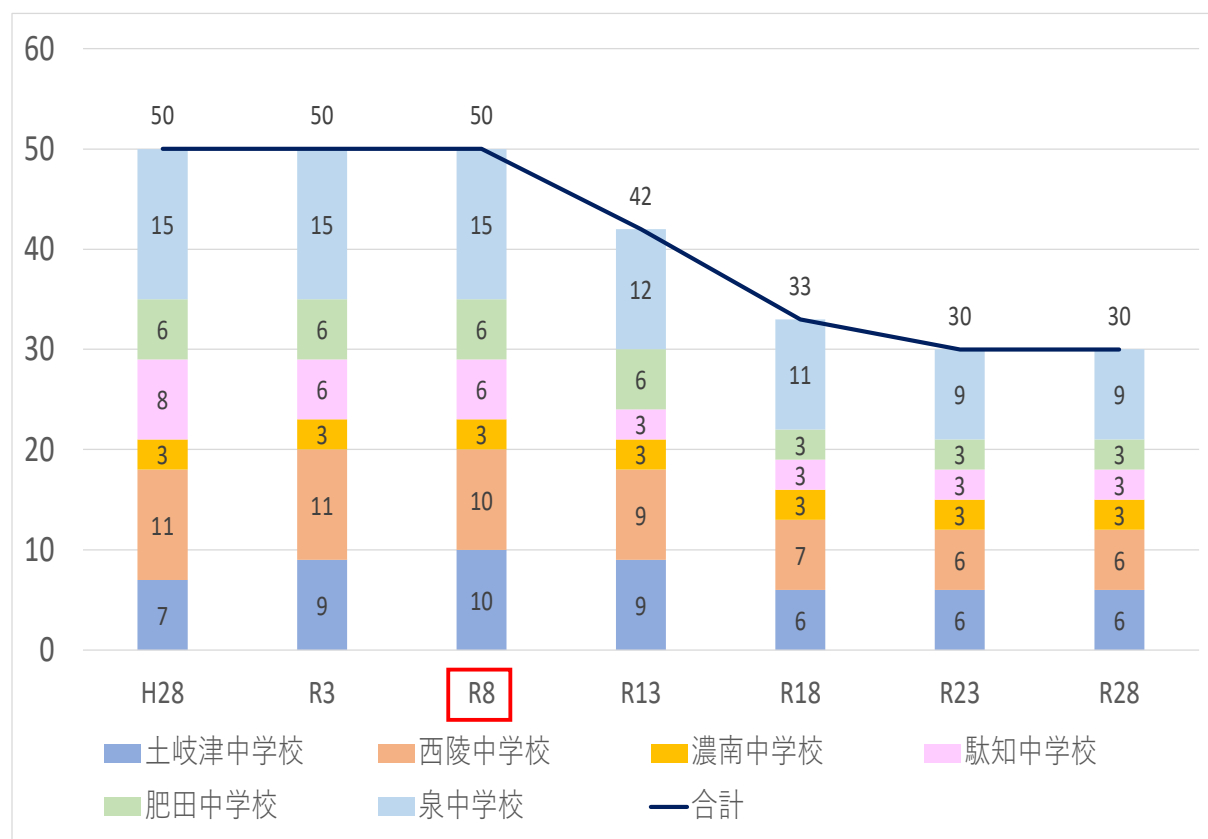
	H28	R3	R8	R13	R18	R23	R28
土岐津中学校	70	94	77	94	56	48	41
西陵中学校	98	104	90	84	58	55	51
濃南中学校	18	8	7	9	2	6	5
駄知中学校	55	47	57	30	16	23	21
肥田中学校	56	51	45	45	33	32	30
泉中学校	151	152	141	111	111	89	77
合計	448	456	417	373	276	253	225

出典：学校基本調査、住民基本台帳、日本の地域別将来推計人口 (R6)

8 中学校の学級数

学級数は、20年後の令和28年には、土岐津中学校では40%減少、下石小学校では40%減少、駄知中学校では50%減少、肥田中学校では50%減少、泉中学校では40%減少、全中学校では40%減少することが予想されます。

20年後の令和28年には、濃南中学校、駄知中学校、肥田中学校では全学年で単学級になっていることが予想されます。



	H28	R3	R8	R13	R18	R23	R28
土岐津中学校	7	9	10	9	6	6	6
西陵中学校	11	11	10	9	7	6	6
濃南中学校	3	3	3	3	3	3	3
駄知中学校	8	6	6	3	3	3	3
肥田中学校	6	6	6	6	3	3	3
泉中学校	15	15	15	12	11	9	9
合計	50	50	50	42	33	30	30

※黄色の枠内の数字は、1学年1学級の単学級になっていることを表しています。

※岐阜県では中学校は複式学級を編制していません。

※1学級当たり35人として算出しています。

(2)学校施設について

本市には、小学校 8 校、中学校 6 校の合計 14 校の学校施設があります。

区分	学校名	所在地	延床面積（㎡）
小学校	土岐津小学校	土岐津町土岐口 2000 番地の 1	7,084
	下石小学校	下石町 1100 番地の 1	5,785
	妻木小学校	妻木町 1291 番地の 1	4,615
	駄知小学校	駄知町 1858 番地の 1	5,866
	肥田小学校	肥田町肥田 2269 番地の 1	4,673
	泉小学校	泉中窯町 1 丁目 5 番地	8,152
	泉西小学校	泉町久尻 1413 番地の 2	5,479
	濃南小学校	鶴里町細野 138 番地	2,294
中学校	土岐津中学校	土岐津町土岐口 2046 番地の 1	5,216
	西陵中学校	妻木町 1513 番地の 1	7,523
	濃南中学校	鶴里町細野 139 番地の 2	3,448
	駄知中学校	駄知町 1145 番地の 6	5,780
	肥田中学校	肥田町肥田 2285 番地の 1	4,432
	泉中学校	泉町大富 1635 番地の 1	8,590

学校施設の位置

町名	小学校	中学校
土岐津町	土岐津小	土岐津中
下石町	下石小	西陵中
妻木町	妻木小	
鶴里町	濃南小	濃南中
曾木町		
駄知町	駄知小	駄知中
肥田町	肥田小	肥田中
泉町	泉小	泉中
	泉西小	

※「土岐市地域防災計画」では、小学校・中学校の全てが広域避難所に指定されています。



構造躯体の健全性の評価

構造躯体は、以下に示すいずれかに該当しており、全ての建築物の健全性を確認しています。

- 新耐震基準(昭和 56 年 6 月 1 日以降の建築確認)以降の建築物である。
- 新耐震基準以前の建築物であり、耐震診断した結果、問題なかった。
- 新耐震基準以前の建築物であり、耐震診断した結果、問題があったため、耐震補強した。

小学校

小学校の建築物は 39 棟ありますが、築 30 年以上経過しているものは 27 棟、そのうち 50 年以上経過しているものは 9 棟あります。構造躯体の健全性は、旧耐震基準以前の建築物が半数以上を占めるものの、全ての建築物で耐震診断が実施され、さらに耐震補強済みです。

躯体の健全性の評価（小学校）									■ 築50年以上 ■ 築30年以上							
建物基本情報									構造躯体の健全性							
	学校名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数 (2025年 時点)	耐震安全性				長寿命化判定			
						西暦	和暦		基準	診断	補強	総合 評価	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)	試算上 の区分	
1	土岐津	屋内運動場	S	1	984	1975	S50	50	旧	済	済	○	H17	S造	長寿命	
2	土岐津	校舎 1	RC	3	727	1982	S57	43	新	—	—	○			長寿命	
3	土岐津	校舎 2	RC	2	770	1983	S58	42	新	—	—	○			長寿命	
4	土岐津	校舎 3	RC	2	685	1983	S58	42	新	—	—	○			長寿命	
5	土岐津	校舎	RC	3	1,970	1982	S57	43	新	—	—	○			長寿命	
6	土岐津	校舎	RC	2	1,883	2012	H24	13	新	—	—	○			長寿命	
7	土岐津	渡り廊下	RC	2	65	2012	H24	13	新	—	—	○			長寿命	
8	下石	屋内運動場	S	1	912	1989	H元	36	新	—	—	○			長寿命	
9	下石	校舎1	RC	3	2,652	2001	H13	24	新	—	—	○			長寿命	
10	下石	校舎2	RC	3	1,899	2001	H13	24	新	—	—	○			長寿命	
11	下石	校舎3	RC	3	322	2013	H25	12	新	—	—	○			長寿命	
12	妻木	屋内運動場	S	1	881	1979	S54	46	旧	済	済	○	H17	S造	長寿命	
13	妻木	校舎1	RC	3	1,178	1964	S39	61	旧	済	済	○	H15	24.4	長寿命	
14	妻木	校舎2	RC	3	2,037	1976	S51	49	旧	済	済	○	H18	26.2	長寿命	
15	妻木	多目的棟	W	2	519	1993	H5	32	新	—	—	○			長寿命	
16	濃南	校舎	W	2	1,801	2014	H26	11	新	—	—	○			長寿命	
17	濃南	多目的棟	W	1	360	2014	H26	11	新	—	—	○			長寿命	
18	濃南	渡り廊下	S	1	133	2014	H26	11	新	—	—	○			長寿命	
19	駄知	屋内運動場	S	1	984	1974	S49	51	旧	済	済	○	H17	S造	長寿命	
20	駄知	校舎1	RC	3	1,500	1972	S47	53	旧	済	済	○	H15	35.5	長寿命	
21	駄知	校舎2	RC	3	500	1973	S48	52	旧	済	済	○	H15	35.5	長寿命	
22	駄知	校舎3	RC	3	934	1973	S48	52	旧	済	済	○	H15	35.5	長寿命	
23	駄知	校舎4	RC	3	544	1973	S48	52	旧	済	済	○	H15	35.5	長寿命	
24	駄知	校舎6	RC	3	1,382	1974	S49	51	旧	済	済	○	H15	35.5	長寿命	
25	駄知	渡り廊下	RC	3	22	1973	S48	52	旧	済	済	○	H15	35.5	長寿命	
26	肥田	屋内運動場	S	1	787	1977	S52	48	旧	済	済	○	H17	S造	長寿命	
27	肥田	校舎1	RC	3	1,699	1976	S51	49	旧	済	済	○	H20	15.6	長寿命	
28	肥田	校舎2	RC	3	451	1976	S51	49	旧	済	済	○	H20	19.1	長寿命	
29	肥田	校舎3	RC	3	1,736	1976	S51	49	旧	済	済	○	H20	19.1	長寿命	
30	泉	屋内運動場	S	1	1,007	1979	S54	46	旧	済	済	○	H17	S造	長寿命	
31	泉	校舎1	RC	3	2,825	2004	H16	21	新	—	—	○			長寿命	
32	泉	校舎2	RC	3	2,097	2004	H16	21	新	—	—	○			長寿命	
33	泉	校舎3	RC	3	2,014	2005	H17	20	新	—	—	○			長寿命	
34	泉	地域連携施設	RC	1	209	2004	H16	21	新	—	—	○			長寿命	
35	泉西	屋内運動場	S	1	1,007	1980	S55	45	旧	済	済	○	H17	S造	長寿命	
36	泉西	校舎1	RC	3	809	1980	S55	45	旧	済	済	○	H18	23.5	長寿命	
37	泉西	校舎2	RC	3	670	1981	S56	44	旧	済	済	○	H18	23.5	長寿命	
38	泉西	校舎3	RC	3	1,308	1981	S56	44	旧	済	済	○	H18	24.9	長寿命	
39	泉西	校舎4	RC	4	1,685	1980	S55	45	旧	済	済	○	H18	24.7	長寿命	

中学校

中学校の建築物は 32 棟ありますが、3 棟以外が築 30 年以上経過しており、そのうち 50 年以上経過しているものは 5 棟あります。構造躯体の健全性は、旧耐震基準以前の建築物が 7 棟ありますが、全ての建築物で耐震診断かつ耐震補強済みです。なお、西陵中学校の屋内運動場は、耐震診断の結果、基準値を上回っていたため、耐震補強を行っていません。

躯体の健全性の評価（中学校）										■ 築50年以上		■ 築30年以上			
建物基本情報									構造躯体の健全性						
	学校名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数 (2025年 時点)	耐震安全性				長寿命化判定		
						西暦	和暦		基準	診断	補強	総合 評価	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)	試算上 の区分
1	土岐津	屋内運動場	S	1	932	1986	S61	39	新	—	—	○			長寿命
2	土岐津	校舎1	RC	3	2,955	1985	S60	40	新	—	—	○			長寿命
3	土岐津	校舎2	RC	2	1,139	1985	S60	40	新	—	—	○			長寿命
4	土岐津	特別教室棟	RC	1	190	1985	S60	40	新	—	—	○			長寿命
5	西陵	屋内運動場	S	2	1,000	1965	S40	60	旧	済	—	○	H7	S造	長寿命
6	西陵	柔剣道場	S	1	429	1990	H2	35	新	—	—	○			長寿命
7	西陵	校舎1	RC	2	970	1978	S53	47	旧	済	済	○	H18	21.1	長寿命
8	西陵	校舎2	RC	3	5,095	1999	H11	26	新	—	—	○			長寿命
9	西陵	渡り廊下	RC	2	29	1999	H11	26	新	—	—	○			長寿命
10	濃南	屋内運動場	S	1	729	1968	S43	57	旧	済	済	○	H7	S造	長寿命
11	濃南	柔剣道場	S	1	428	1989	H元	36	新	—	—	○			長寿命
12	濃南	校舎1	RC	2	1,258	1987	S62	38	新	—	—	○			長寿命
13	濃南	校舎2	RC	2	884	1987	S62	38	新	—	—	○			長寿命
14	濃南	校舎3	RC	2	149	1987	S62	38	新	—	—	○			長寿命
15	駄知	屋内運動場	RC	1	1,056	1991	H3	34	新	—	—	○			長寿命
16	駄知	格技場	S	1	384	1991	H3	34	新	—	—	○			長寿命
17	駄知	校舎1	RC	3	3,434	1991	H3	34	新	—	—	○			長寿命
18	駄知	特別教室棟1	RC	2	720	1991	H3	34	新	—	—	○			長寿命
19	駄知	特別教室棟2	RC	1	186	1991	H3	34	新	—	—	○			長寿命
20	肥田	屋内運動場	RC	1	899	1993	H5	32	新	—	—	○			長寿命
21	肥田	格技場	RC	1	394	1993	H5	32	新	—	—	○			長寿命
22	肥田	校舎	RC	3	2,937	1984	S59	41	新	—	—	○			長寿命
23	肥田	特別教室棟	RC	1	202	1984	S59	41	新	—	—	○			長寿命
24	泉	屋内運動場	S	2	1,268	1988	S63	37	新	—	—	○			長寿命
25	泉	格技場	S	2	400	1988	S63	37	新	—	—	○			長寿命
26	泉	校舎1	RC	3	900	1972	S47	53	旧	済	済	○	H15	22.8	長寿命
27	泉	校舎2	RC	3	1,530	1973	S48	52	旧	済	済	○	H15	22.8	長寿命
28	泉	校舎3	RC	3	248	1977	S52	48	旧	済	済	○	H15	22.8	長寿命
29	泉	校舎4	RC	3	2,082	1988	S63	37	新	—	—	○			長寿命
30	泉	校舎5	RC	2	1,387	1988	S63	37	新	—	—	○			長寿命
31	泉	特別教室棟	RC	2	722	1961	S36	64	旧	済	済	○	H18	14.7	長寿命
32	泉	配膳室	RC	1	53	2014	H26	11	新	—	—	○			長寿命

(3) 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置について

①適正規模・適正配置が求められる背景

- | | |
|--------------------------------------|---|
| ☐ 少子化の急速な進行 | ☐ 共働き家庭・ひとり親家庭の増加 |
| ☐ 地域コミュニティの衰退 | ☐ 学校施設の老朽化 |
| ☐ 交通機関の発達 | ☐ 生活圏の変化 |
| ☐ 施設管理に関する負担 | ☐ 個別最適な学びと協働的な学びへの対応 |
- 土岐市でも今後急速に児童生徒数が減少

②学校規模の適正化に関する基本的な考え方

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」

平成 27 年 1 月 27 日 文部科学省 （以下 平成 27 年手引き）

- ・児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという特質を踏まえると、学校については、一定の規模を確保することが望ましい。
- ・学校規模の適正化の検討は、あくまでも児童生徒の教育条件の改善の観点を中心に据え、学校教育の目的や目標をより良く実現するために行うべきもの。
- ・学校は地域のコミュニティの核として、防災・保育・地域の交流の場等の機能を併せ持つ。地域の実情により、学校統廃合が困難な場合や小規模校として存続させることが必要な場合もある。

<適正規模>

- ・文部科学省では、小中学校の学校規模（学級数）の標準等を設定。
学校教育法施行規則において、小中学校ともに、12学級以上18学級以下を標準。
但し、地域の実態その他特別の事情があるときはこの限りではない。
- ※地理的条件により統合困難な事情がある場合は、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、小規模校のデメリットの解消策や緩和策を積極的に検討・実施する必要

<適正配置>

- ・通学距離は、小学校で4 km以内、中学校で6 km以内を基準
- ・通学時間は、「おおむね1時間以内」を目安として市町村が判断

<学校統合に関して留意すべき点>

◆学校統合の適否に関わる合意形成

- | | |
|------------------|-------------------|
| ・課題の可視化と共有 | ・統合の効果の見通しと共有 |
| ・統合を行う場合の検討体制の工夫 | ・首長部局との緊密な連携による検討 |

◆魅力ある学校づくり

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ・地域との協働関係を生かした学校づくり | ・魅力あるカリキュラムの導入等 |
| ・施設整備面での充実 | |

◆統合により生じる課題への対応

- ・スクールバス等の多様な交通手段の導入に伴う課題への対応
- ・通学路への安全確保に関する対応
- ・地域との関係の希薄化を防ぐ工夫
- ・統合に伴う諸事務の計画的な実施
- ・児童生徒への環境変化への対応
- ・地域の拠点機能の継承

【参考】公立小中学校の統廃合をお考えの皆さまへ 令和7年3月 文部科学省



「令和の日本型学校教育」を推進する学校の適正規模・適正配置の在り方に関する調査研究協力者会議 議論のまとめ（令和8年3月26日）

- ・「平成27年手引き」策定以降、人口減少の継続、学校を取り巻く環境の変化、1小1中状態の市町村の割合の増加



- ・ 学校の適正規模・適正配置の在り方について議論 →H27年手引き改正に向けて

<議論のまとめの基本的考え方>

- ・平成27年手引きの基本的考え方は引き続き妥当。

- ① 児童生徒の教育条件の改善の観点が学校の適正規模・適正配置の検討の中心であること
- ② 検討に当たっては手引き上の基準に機械的に縛られることなく 各地方公共団体において主体的に判断を行う必要があること、
- ③ 学校を統合する場合と小規模校を存続させる場合のいずれの場合でもその 利点を活かし課題を最小化する工夫が必要であること

- ・平成27年手引きを「広域化」「総合化」「現代化」の観点から更新する。

広域化：周辺の市町村を巻き込んだ圏域で検討する観点

総合化：教育委員会の視点だけでなく、首長部局も含めて検討する観点

現代化：学校教育の状況の変化に踏まえた記載に改める観点

③小規模校のメリット・デメリット

- ▼人間関係が固定化 →社会性やコミュニケーション能力
- ▼集団行事・体育などの実施に制約 →切磋琢磨する環境の不足
- ▼多様な考えを引き出しにくい →多様なものの見方や考え方に触れる機会の不足
- ★少人数であることを生かした教育活動
 - 少人数（機動力）柔軟な対応が可能 →濃南小中 修学旅行や学校行事
- ★個別指導の徹底による学習内容の定着
 - きめ細かな教育の実現 →多様な個の見届けと個に応じた指導
 - 濃南小中 全国学テ平均を上回る
- ★地域資源を生かしたカリキュラム編成 →全ての学年で地域人材を活用

④小規模校を存続させる場合の充実方策

- ・小規模校の課題を緩和する方策 ➡学校間交流の活性化
- ・小中一貫教育による一定の学校規模の確保 ➡9 学年による編制
- ・社会教育施設との複合化による教育活動の充実
- ・小規模特認校制度の推進 ➡濃南小中 9 人（R 8）

⑤土岐市の特徴

- ・各町ごとに中学校がある。
→自治会や公共施設との連携がしやすい。
- ・東濃で最初の小中一貫教育校を設置している。
濃南小中学校→施設併設型小中学校【東濃地区初】 **モデル校**
 - 小学校中学年から教科担任制
 - 機動力を生かした教育活動
 - 異年齢学習の推進
 - 地域資源を生かした教育課程
- ・令和 2 年度より市内全ての小中学校に学校運営協議会設置

土岐市立小中学校適正規模等検討委員会スケジュール（案）

年 月		回	主な内容	事務局
令和8年度	6月29日（月）	1	正副委員長の選出 土岐市の児童生徒数・学級数の将来推計 学校施設について 適正規模・適正配置について 各委員からの意見聴収 委員会のスケジュール（案） 会議録の取扱い	委員会での資料確認・意見集約
	9月	2	前回で出た意見の取りまとめ 質疑応答 追加での意見聴収	
	12月	3	これまでの意見集約 課題の洗い出し ※場合によっては学校視察 （濃南小中学校、恵那南中学校等）	意見集約 課題の洗い出し 視察の場合は配車等の手配
	3月	4	課題の整理 中間とりまとめ	これまでの取りまとめ資料
令和9年度	5月	5	適正規模等の検討（1）	適正規模等資料整理
	8月	6	適正規模等の検討（2）	
	11月	7	提言（草案）の作成	提言の作成
	2月	8	教育長に提言	

※提言により、「土岐市立小中学校適正規模・適正配置計画」を作成。